

特定非営利活動法人 埼玉環境カウンセラー協会

## 協会だより 第48号



やまねのセカちゃん

発行日：2021年9月30日

発行人：会長 中村 章

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 ヲムレ9F

さいたま市市民活動サポートセンター

電話：050-3610-1948

e-mail：sai-eca@soleil.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.saieca.com/

### 本号のラインアップ

会長あいさつ	.....	1
通常総会を終えて	.....	2
会員レポート	.....	5
コラム	.....	11
情報交差点、編集後記	.....	12

### 会長あいさつ

中村 章

令和3年度の通常総会及び理事会の議を経て会長を仰せつかった中村でございます。伝統のある埼玉環境カウンセラー協会の会長に就任し、責任の重さをひしひしと感じております。諸先輩の方々の御協力を賜りながら、精一杯務めて参りますので、どうかよろしくお願い申し上げます。また、大熊幸雄前会長には、長年にわたり当協会にご貢献いただき、心から感謝申し上げます。

さて、当協会の事業活動としては例年であれば、環境保全講習会の開催、化学物質検討委員会、環境教育推進委員会、広報委員会などの活動が行われてきましたが、新型コロナウイルスのため、なかなか思うような活動が行えない状況でございます。しかしながら、オンラインも活用して課題を克服し、講習会の開催、研修会等への講師派遣、各自治体の環境審議会等への委員就任、各自治体が開催する環境フェア等への参加など市町村等の関係機関と協力関係を築いて参りたいと思っております。会員の皆様には、制約が多いなかではあります、こうした活動に積極的にご参加いただき、当協会の活性化を共に進めていただければ幸いです。そのため、情報交換会、協会だより、メールによる事務局だより、ホームページを通じて会員への情報提供、情報の共有化を図り、会員の持つ潜在的な能力を発揮出来るよう、様々な機会を増やして参りたいと存じます。つい最近NHKで徳島県小松島の高校生の河川浄化活動が放送されておりました。少しでも地域に役立ちたいという意識と活動が大きく開いた例だと思っております。

社会的には、新型コロナウイルスの問題に加えて、人口の減少、高齢化、経済の縮小など社会基盤に関わる問題が引き続くなかで、SDGs や脱炭素社会への対応なども求められています。環境カウンセラーが果たすべき役割も極めて大きなものであると考えております。当協会の使命をしっかりと認識し、役割を果たして行きたいと思っております。どうぞよろしく、お願い申し上げます。

## I 令和3年度・埼玉環境カウンセラー協会の通常総会を終えて

### ◇通常総会の開催結果概要

特定非営利活動法人埼玉環境カウンセラー協会の通常総会は、令和3年5月15日（土）14時～15時28分、ZOOM オンラインで開催されました。

概要は、次のとおりです。

1 開 会（司会）星野弘志副会長

2 挨拶 大熊幸雄会長

3 来賓挨拶

埼玉県環境部長 小池 要子 様（あいさつ文は、次ページに掲載）

4 議 事

以下の第1～5号議案は、全て承認、議決された。

（1）第1号議案 令和2年度事業報告（星野副会長説明）

（2）第2号議案 令和2年度活動計算書（片倉会計）及び監査報告（内藤監事）

（3）第3号議案 令和3年度事業計画書案（星野副会長）

（4）第4号議案 令和3年度活動予算書案（片倉会計）

（5）第5号議案 役員を選任について（星野副会長）

5 臨時理事会が開催され、互選により中村章会長、星野弘志副会長、角江紘一副会長が決定した。

6 意見交換

会員の活動が紹介された。

日程を調整して新役員で事業計画を審議する理事会を開催する。

7 閉 会

### 埼玉環境カウンセラー協会 役員名簿（令和3年度～4年度）

役職名	氏 名	住 所	摘 要
理 事	中村 章	富士見市	会 長
理 事	星野 弘志	さいたま市南区	副会長
理 事	角江 紘一	深谷市	副会長、事務局長
理 事	大熊 幸雄	さいたま市浦和区	
理 事	堀中 新一	蓮田市	
理 事	秋元 智子	さいたま市大宮区	
理 事	片倉 寛	久喜市	会 計
理 事	丸岡 巧美	川越市	
理 事	黒川 正美	さいたま市浦和区	
監 事	宮崎 誠	川越市	
監 事	内藤 定芳	秩父市	

埼玉県環境部長の小池でございます。

埼玉環境カウンセラー協会におかれましては、長年にわたり、会員の皆様の専門的知識や豊富な経験を活かし、個人や企業の方々の様々な環境保全活動を支援して来られました。

環境イベントへの参加による環境保全の普及啓発活動から、研修会の実施による環境教育人材の育成まで、幅広い分野に渡って、本県の環境問題の改善に多大な貢献をいただいております。

大熊会長をはじめ貴協会の皆さまに、この場をお借りいたしまして、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年初頭から新型コロナウイルス感染症が世界各地で猛威を振るい、本県でも予断を許さない状況が続いています。社会経済が厳しい状況にある一方で、テレワークやオンラインイベントといった新しい生活様式の普及など、これからの環境対策にも大きく影響する社会経済の変化が起きています。

県では、世界的に持続可能な開発目標、SDGsの取組が進む中で、昨年度から、「誰ひとり取り残さない、持続可能な発展・成長をする埼玉県」を実現するため、あらゆる主体がワンチームで取り組んでいく「埼玉版SDGs」に積極的に取り組んでいます。

環境問題を解決し持続可能な社会を実現していくためには、個人、企業、行政などあらゆる主体が、自らの活動が環境に与える影響を意識し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を実践していくとともに、協働して環境保全対策に取り組むことが極めて重要でございます。

環境カウンセラーの皆様の中には、県の環境アドバイザーに登録され、地域での環境保全活動や環境学習の講師等で活躍されている方もいらっしゃいます。御協力により大変多くの方の環境意識の高揚を図っていただいていること、本当に感謝しております。

個人や企業の方々の環境への意識をより一層高めていくために、引き続き御協力をお願いいたします。

貴協会には今後とも、環境に関するスペシャリストとして、その熱意と見識を発揮し、一層の御尽力を賜りますよう心から御期待申し上げます。

結びに、貴協会の一層の御発展と御参会の皆様の御健勝を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



## ◇会長退任あいさつ

大熊 幸雄

2015年5月の通常総会で中村章会長が退任されたことを受け、私は埼玉環境カウンセラー協会の会長に就任し、3期6年を務めました。

この間、「会員の高齢化」と「会員数の減少」と言う課題に取り組み、少しでも良い方向へと考えてまいりました。これはECUでも議論となっておりますが、各県の環境カウンセラー協会がかかえる共通の悩みです。中村、星野両副会長、片倉会計理事を始め会員の皆様には大変お世話になりました。ここから感謝申し上げます。

2017年10月29日には第34回環境保全講習会を開催しましたが、私は9月3日から20日まで北ドイツのファーレルとリュベックに旅行をしておりまして、その間はメールのやり取りで講習会の打ち合わせをしました。この講習会のテーマは「化学物質と私たちの暮らし 安全・安心へのアプローチ」でしたが、私も「豊洲新市場問題等を例として」化学物質による環境汚染問題の安全と安心、環境アセスメント制度について話す機会をいただきました。

2018年11月10日に開催した第35回環境保全講習会では「SDGs時代の世界と日本」をテーマに、環境庁でお世話になった荒井真一さんにご紹介をいただき、京都大学の松下和夫名誉教授に講師をお願いすることができました。松下様には、その後も気候変動対策等の情報をいただいております。良い思い出です

皆様にはお知らせしていませんでしたが、古稀を過ぎて、2019年11月に副鼻腔ポリープ切除・鼻中隔湾曲矯正手術、2020年6月には右膝人工関節置換手術をしました。術後は、毎日リハビリ・ウォーク、スクワットなどに励み、その結果、心肺機能が改善された実感があります。

会長在任中、協会だよりの全ページカラー化、ホームページの管理を行い、コロナ禍になってからは令和2年度通常総会を書面表決で、令和3年度通常総会をZOOM オンラインで開催しました。

これからは、ホームページを担当するとともに、理事として協会の活動に参画してまいりたいと思います。



5月15日 ZOOM オンライン通常総会

埼玉環境カウンセラー協会  
第35回 環境保全講習会 入場無料

### SDGs 持続可能な開発目標の達成に向けて

日時 平成30年11月10日(土)  
13:30~16:30(開場13:00)

場所 埼玉会館 4A会議室  
さいたま市浦和区(裏面参照)

国連が2030年に向けて採択した「持続可能な開発目標 SDGs」の達成に向けて、私たちはどのように取り組んだらよいのでしょうか。3つの講演を聴いたうえで、参加者全員で考えていきます。

**1 講演**

(1)SDGsとは  
SDGsの実現に向けたパートナーシップのあり方検討会 委員  
京都大学名誉教授 松下和夫氏

(2)SDGs 企業の取り組み  
積水ハウス株式会社 CSR部長 小谷美樹氏

(3)SDGs 自治体の取り組み  
埼玉県環境政策課 主幹 前田雄一氏

**2 フロアとの意見交換**

主 催  
特定非営利活動法人  
埼玉環境カウンセラー協会(SECA)

後 援  
環境省関東地方環境事務所  
埼玉県  
さいたま市



## II 会員レポート

今回は、脱炭素社会の議論が活発化している今日、非常にタイムリーなテーマについて、エネルギー問題に詳しい当会監事の宮崎さんからご投稿いただきました。

### ◇「エネルギー白書 2021」を読み解く（脱炭素社会に向けて）

宮崎 誠

#### はじめに

今年も日本列島は線状降水帯が発生し、各地に豪雨・水害をもたらした。その原因としては、東シナ海・西太平洋の海水温が 30 年前の平均温度より 1.1℃上昇しており、これが水蒸気の発生量を 1 割ほど増加させているのである。

世界各地からも異常気象のニュースが入ってきており、北米西海岸では熱波に襲われ、今年も大規模な森林火災が発生し、6 月末にはカナダ西部で同国最高温度の 49.6℃を記録したという。

7 月に発生したドイツ・ベルギーのライン川流域での大洪水では 200 人以上が亡くなり、多くの町が壊滅状態となった。この豪雨の原因についても温暖化問題と直結して議論されている。また、中国河南省で発生した大洪水は 1000 年に一度の豪雨といわれ、鄭州市では地下鉄構内にまで浸水し、地下鉄車両に閉じ込められた人が多数亡くなったという。

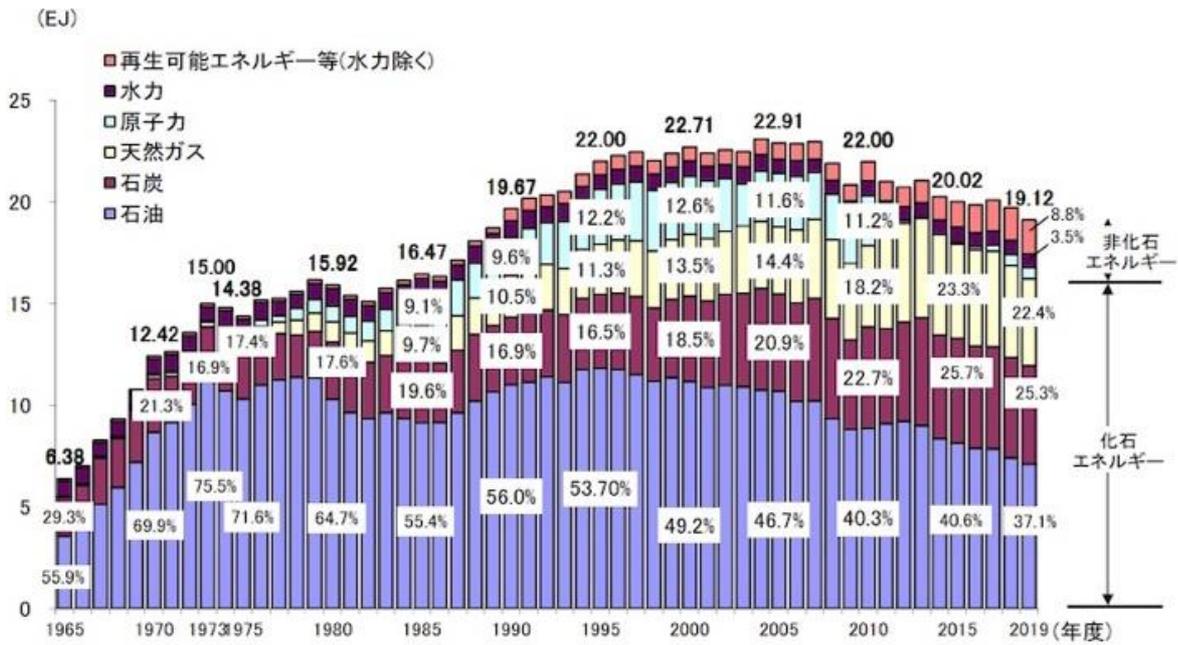
こうした現象は、地球温暖化の影響により必然的に発生し、人類の生命・財産に甚大な被害を及ぼすことから、欧州を中心に政治問題化してきている。日本でも菅政権は遅まきながら 2050 年のカーボンニュートラル宣言、2030 年の温室効果ガス 46%削減を発表した。しかしながら、その中身については具体性に乏しく、社会がどう変わっていくのか想像できない方も多いと思う。資源エネルギー庁から発行された「エネルギー白書 2021」を基に日本のエネルギーの現状と脱炭素化を考察してみたい。

#### 1 脱炭素社会とエネルギー消費

脱炭素社会とは何を意味するのだろうか。日本では、全使用エネルギーの約 85%は化石燃料（石油・石炭・天然ガス）でまかなわれている。それから CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が燃焼等により発生することから、脱炭素とはエネルギーを消費しないか再生可能エネルギーを使うしか方法がない。

図 1 の一次エネルギー国内供給推移を見ると、2019 年では CO<sub>2</sub> を発生させる化石エネルギーが約 85%で、非化石エネルギーである再生可能エネルギー（太陽光・風力・地熱・バイオマス）、水力、原子力が約 15%を占める。ここ数年の傾向を見ると、非化石エネルギーの比率が増加し、石油の消費量は、自動車の燃費向上や火力発電所での使用が減じたことから減少傾向にある。石炭と天然ガスは主として発電に供されるが、使用量は横ばいである。

こうした一次エネルギーである天然ガスからは都市ガス製造や火力発電に供され、石油（原油）からはガソリン、灯油、軽油、重油等が作られ、それぞれ、自動車、航空燃料、貨物自動車等に利用され、重油は電力等に回される。こうした使いやすい形となったエネルギーを二次エネルギーと呼ぶ。図 2 で示すように、この一次エネルギーから二次エネルギーへの転換に大きなエネルギーロスが生まれ、これを転換ロスという。特にロスが大きいのが電力で、通常発電効率は 40~50%程度で、送電ロスも含め、約 60%のエネルギーは捨てられていることとなる。すなわち、利用される電力の 1.5 倍のエネルギーが主として熱として捨てられ、その分も CO<sub>2</sub> 発生の大きな要因である。



(注1)「総合エネルギー統計」は、1990年度以降、数値について算出方法が変更されている。  
(注2)「再生可能エネルギー等(水力除く)」とは、太陽光、風力、バイオマス、地熱などのこと(以下同様)。  
出典:経済産業省「総合エネルギー統計」を基に作成

図1 一次エネルギー国内供給の推移<sup>1)</sup>

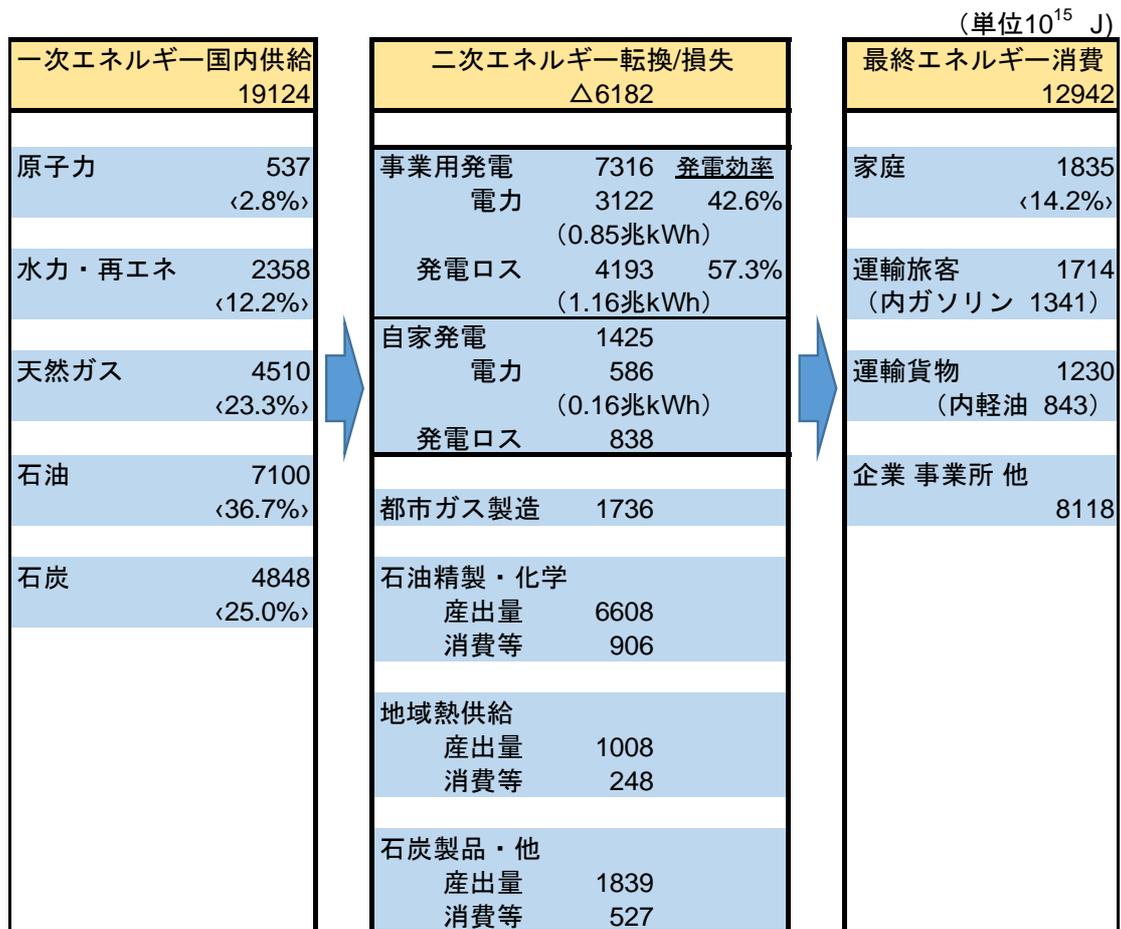


図2 日本のエネルギーの流れ(2019年度)

1)「我が国のエネルギーバランスフロー概要」を基に作成

## 2 発電によるエネルギーロスと CO<sub>2</sub> 排出量

9 電力会社により発電される事業用電力は年間 0.85 兆 kWh にも及び、企業や家庭に届けられる。しかしながら、電力を産む過程で発生するエネルギーロスは 1.16 兆 kWh にもなり、発電される電気よりも遥かにロスの方が大きいのである。事業用電力に使われるエネルギーは日本の総エネルギーの約 38%を占めるが、そのうちロス分が半分以上の 22%も占めるのは不都合な現実である。

1kWh あたりの CO<sub>2</sub> 排出量は、電力会社から報告があり、2019 年の東京電力の電力排出係数は 0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh である。この数値が経済産業省・環境省の認証を受けた後、全国に公布され、各企業や自治体が使用する電力に対する CO<sub>2</sub> 排出量の計算値に用いられる。これを基準に事業用電力から排出される CO<sub>2</sub> 排出量を計算すると 3.8 億トンとなる。環境省から発表されている 2019 年度の総温室効果ガス排出量は 12.1 億トン (CO<sub>2</sub> 換算値)、うちエネルギー起源の CO<sub>2</sub> 排出量は 10.65 億トンであることから、電力からの CO<sub>2</sub> 排出量の割合は 36%となる。

表 1 一次エネルギーの燃焼熱・排出係数

	H/C比	比重	燃焼熱		電力排出係数 <sup>*6</sup> kg-CO <sub>2</sub> /kWh	
			g/cm <sup>3</sup>	kWh/kg		
石炭	-CH-	1	1.3~1.4 <sup>*1</sup>	11.5	—	0.74
石油	-CH <sub>2</sub> -	2	0.861 <sup>*2</sup>	13.5	—	0.58
天然ガス	CH <sub>4</sub>	4	0.415 <sup>*3</sup>	16.8	12.0	0.41
水素	H <sub>2</sub>	—	0.07 <sup>*4</sup>	17.1	3.5	0
アンモニア	NH <sub>3</sub>	—	0.817 <sup>*5</sup>	6.3	4.7	0

\*1：発電用一般炭

\*2：アラビアンライト (@15°C)

\*3：-164°Cの液体状態

\*4：-253°Cの液体状態

\*5：-79°Cの液体状態

\*6：発電効率40%で算出

出典:日本化学会編:化学便覧(丸善)を基に作成

表 1 からわかるように、石炭や石油の代わりに C (炭素) に対して H (水素) の比率が高い天然ガスの使用割合が増えれば電力排出係数は下がり、CO<sub>2</sub> 排出量は抑えられる。しかしながら、前述の図 1 で示したようにコスト面から石炭の使用割合が下がっていかないのは残念な傾向である。石炭火力から天然ガスに全面的に切り替えるだけでも排出係数は約 45%減少し、CO<sub>2</sub> 排出量は大幅に低下する。欧州では石炭火力を全廃にする動きが活発であるが、日本では歯切れが悪く、海外から非難的になっている。将来的には、CO<sub>2</sub> を排出しない水素やアンモニアによる発電が計画されているが、天然ガスに比べ、単位体積当たりの燃焼熱が小さく、発電効率の低下が懸念される。また、水素を都市ガスに使うという案もあるが、この場合も熱量の低下への対応が必要であろう。

水素は、液化してもその比重は極端に低く、LNG (液化天然ガス) のように液化して運搬しても非常に効率が悪い。そのため、別の手段も考案されている (別の機会に述べたい)。したがって、水素を大型貨物輸送や大型船舶、航空機に用いるのは現実的ではなく、代替燃料の開発が望まれる。ちなみに、燃料電池車トヨタ “みらい” は水素を高圧 (70KPa) で圧縮し、特殊容器に充填して使用している。また、今回の東京オリンピックの聖火には水素ガスが用いられたという。環境を重視したパフォーマンスであろう。

排出係数の話であるが、現実的には火力発電所によって発電効率がかかなり異なり、表 2 に示すように排出係数に大きな幅がある。ここでは、詳細は省くが、石炭火力で “超々臨界圧” とか “IGCC”

(石炭ガス化複合発電プラント)は世界最高水準の高効率発電という話もあるが、それでも CO<sub>2</sub> 排出係数は LNG 火力発電に及ばない。この点は、しっかり認識すべきである。

表 2 実際の発電所での排出係数

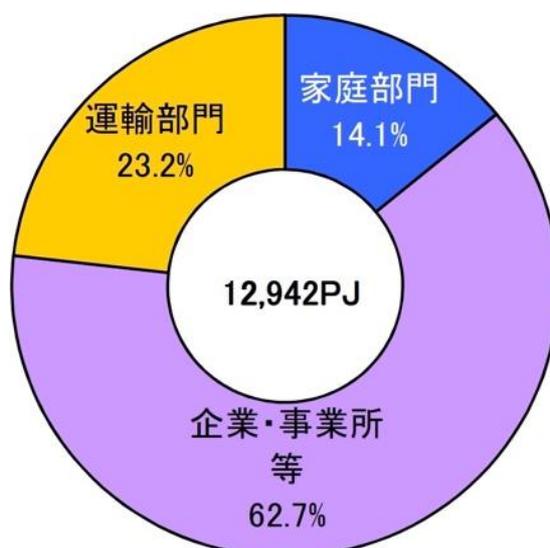
石炭火力発電	0.74~0.94 kg-CO <sub>2</sub> /kWh
LNG火力発電	0.47~0.60 kg-CO <sub>2</sub> /kWh
太陽光・原子力	0.02~0.04 kg-CO <sub>2</sub> /kWh

日本で発電する電力 0.85 兆 kWh (自家発電含まず) から排出される CO<sub>2</sub> を 2050 年にゼロにするのは、壮大なチャレンジだが、それでも日本全体の CO<sub>2</sub> 排出量の 36% にしかすぎない。経済産業省は 7 月 21 日に新たな「エネルギー基本計画」の素案を発表し、2030 年度における電源構成の目標を提示した。再生可能エネルギーを 36~38% に増やすが、原子力が 20~22%、石炭火力が 19% を占めるという極めて課題の多い素案であり、多方面から異論の声が上がっている。

### 3 家庭でのエネルギー消費

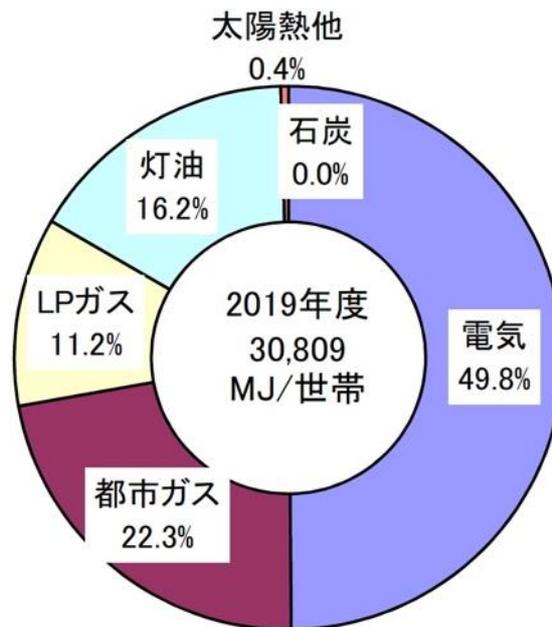
次に家庭でのエネルギー消費について見ていく。

図 3 に示すように、家庭部門のエネルギー消費量は全体の 14% 余りである。しかしながら、当該部門には自家用車に使われるガソリン等は含まれておらず、それは、運輸部門にカウントされている(後述する)。家庭部門の省エネの話をする場合、経済産業省からのデータだけで議論すると、認識がずれるので注意を要する。図 4 に示すように、家庭部門の消費エネルギーの半分は電気であり、電気の排出係数が問題になる。仮に、家庭に供給される電気の排出係数が半分になれば、電気に関わる CO<sub>2</sub> 排出量は半分になる。これは、自分の力では変えることができず、国や電力会社に委ねるしかない。筆者としては、太陽光発電設置コストがかなり安価(3kW で 100 万円を切る)になっている現下の情勢を鑑みると、国の法令で、新築家屋には高断熱性規格と太陽光発電の設置を義務付け、ZEH(ゼロエネルギーハウス)をめざす政策を積極的に進めるべきだと考える。



出典：経済産業省「総合エネルギー統計」を基に作成

図 3 最終エネルギー消費の構成比 (2019 年度) <sup>1)</sup>



出典：日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、経済産業省「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」を基に作成

図4 家庭部門におけるエネルギー源別消費<sup>1)</sup>

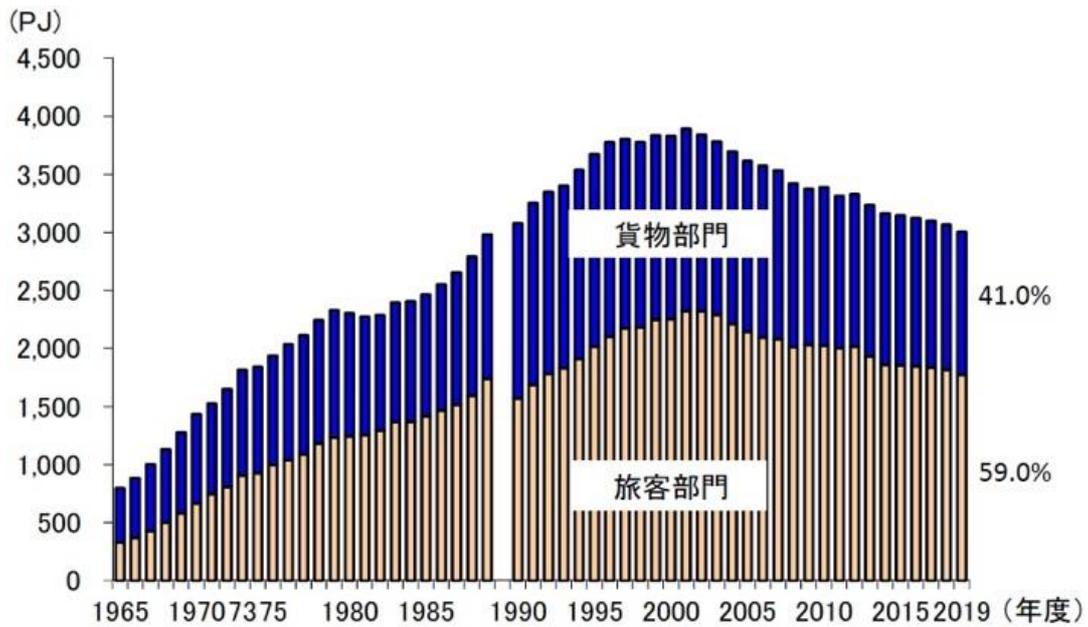
#### 4 運輸部門のエネルギー消費

次に、運輸部門であるが、図3に示すように、全エネルギーの23%を占める。

図5に示すように、旅客部門が約6割、貨物部門が約4割の構成である。旅客部門は乗用車の燃費向上により、エネルギー消費量は年々減少し、2001年度のピーク時から2019年度は24%減少している。また、図6に示すように、旅客部門の8割は自家用乗用車が占め、その中に家庭等で使用されるガソリン消費等も含まれる。自家用乗用車で消費されるエネルギーは全エネルギーの約11%にもなり、家庭部門の14%と合わせると約25%となり、我々の家庭生活で消費されるエネルギーは、全エネルギー消費の約4分の1を占める。家庭生活では、ZEH（ゼロエネルギーハウス）を推奨したが、さらに乗用車もEV（電気自動車）等の普及でCO<sub>2</sub>排出量を抑えない限り、脱炭素社会の構築は難しいであろう。EVの普及に伴い、電力需要が増加することが予想されるが、100%置き換わった場合でも電力増加分は現電力需要の1割強の増加と見込まれている。EV用の電気が化石燃料から作られた電気を使って充電するのではまったく意味がないので、やはり、再生可能エネルギーの普及・拡大が必須と思料する。

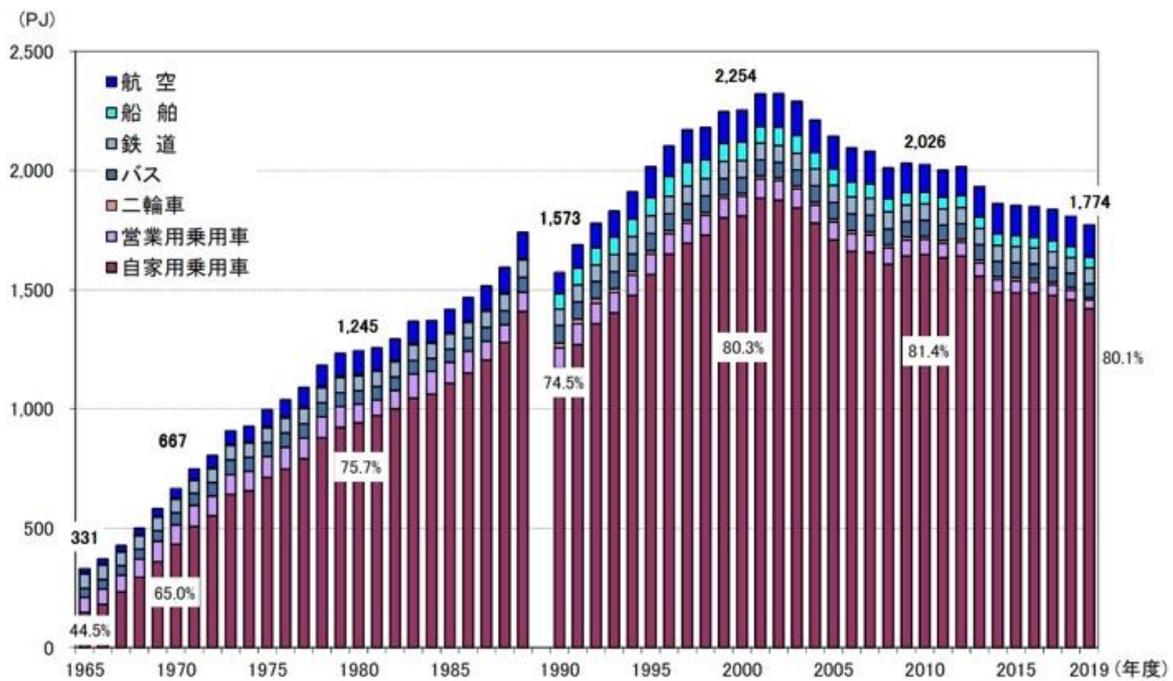
#### おわりに

政府は昨年10月、2050年に温室効果ガスの排出を「実質ゼロ」にすると宣言した。本年4月には、2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で46%削減すると発表し、この7月には、新たな「エネルギー基本計画」の素案を発表しており、次の機会に政府目標に対する課題、実現性について論じてみたい。



注)「総合エネルギー統計」は、1990年度以降、数値の算出方法が変更されている。出典：経済産業省「総合エネルギー統計」を基に作成

図5 運輸部門のエネルギー消費構成<sup>1)</sup>



注)「総合エネルギー統計」は、1990年度以降、数値の算出方法が変更されている。出典：経済産業省「総合エネルギー統計」を基に作成

図6 旅客部門の機関別エネルギー消費の推移<sup>1)</sup>

参考文献

- 1) 経済産業省：令和2年度エネルギーに関する年次報告（エネルギー白書2021），  
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2021/pdf/>（2021年6月）

## コラム

### ◇2015年が産み落とした3巨人

星野弘志

2015年は、その後の社会を変える3つの大きな事柄がありました。私はこれを3巨人と勝手に呼んでいます。

1つは、SDGs（持続可能な開発目標）、2つ目はカーボンニュートラル（CN 脱炭素社会）を目指すパリ協定です。この2つは多くの方が認識されていることと思います。そして、3つ目はサーキュラーエコノミー（CE 循環経済）です。サーキュラーエコノミーの考え方自体はもう少し前に登場したのですが、2015年にEUがCEの政策パッケージを発表したことにより表舞台に登場した感があります。

今、SDGs、CN、CEの3巨人が起こす激しい潮流が社会を大きく変革しようとしています。持続可能な社会・地球を目指すサステナブル・トランスフォーメーション（SX）やグリーン・トランスフォーメーション（GX）という潮流です。

実はこの3巨人はしっかりと連携しています。SDGsの13番目のゴールには気候変動対策が位置づけられていますし、脱炭素社会を実現するために不可欠な、エネルギーに関する7番目のゴール、

産業と技術革新に関する9番目のゴールも位置づけられています。CEはSDGsのゴールの中には直接は位置づけられていませんが、12番目のゴール「つくる責任 つかう責任」のターゲット中に廃棄物の大幅削減など資源循環に関する事項が定められています。



さらに、CNを達成するためには、CEの推進が不可欠となっています。二酸化炭素など温室効果ガス（GHG）の発生量のうち、55%はエネルギーの直接的な消費によるものですが、残りの45%は、物の生産やサービスの提供に伴うものと推計されています。この物の生産やサービスの提供によるGHGの削減

については、その45%をCEの推進が担い、残りの55%はCCS（二酸化炭素の回収・貯蔵）を含む各種の技術革新が担うと考えられています。GHGの45%のさらに45%、つまり約20%の削減についてCEが鍵を握っていると考えられています。

本年、5月、温暖化対策法が改正され、2050年カーボンニュートラルが法律に位置付けられました。これにより政権が変わったとしても、脱炭素社会への流れを緩めることはできなくなりました。また、6月には、プラスチックの資源循環に関する新しい法律、いわゆるプラ新法も成立しました。プラ新法は海洋汚染問題などで注目されているプラスチックについてCEを推進するための新しい枠組みです。SDGsは言うまでもなく、CN、CEという巨人も大きな歩幅で歩を進めています。

### Ⅲ 情報交差点

#### ◇くまがやエコライフフェアへの出展参加

角江 紘一

くまがやエコライフフェア2021は、5/22・23、熊谷市内デパートのホールで開催されました。コロナ禍ゆえ、昨年は中止に追い込まれました。今年も苦渋の選択を経たようで、子供向けのゲームなどをやめ、感染予防に配慮し、団体ごと執務者を絞り、展示主体での開催となりました。

当協会は、例年、高崎線添い（大宮～本庄）会員の力を結集し、「環境問題に気づきを促す」を基本として展開しておりますが、主催者方針に沿い、展示のみ、立会なしとして臨みました。

展示は、地球温暖化防止、および協会の活動の紹介とPRをテーマとし、来場者とのコンタクトが得られない環境ですので、「質問箱」を設置しました。

来場者数は例年の1/4程度の800人だったとの報告でした。それでも、「質問箱」には、10才の小学生から「どうして地球は温暖化してきたのですか？」との質問を受けました。こうして関心を持ってもらえ、先ずは成功。丁寧に回答しました。成人し、環境改善のリーダーになられることを期待しております。

先ずは、「参加」に誘い、本人は、「接し」、「感動」し、あるいは「疑問」を持ち、「気づき」を得る。それが、将来の「行動」に繋がる。これからも、こうしたことを丁寧に誘導すべく展開していこうと考えています。

熊谷の環境を考える～100年先も自然豊かな熊谷であるために～

## くまがやエコライフフェア2021

※新型コロナウイルスの感染対策を行った上での開催となります。会場内でのマスクの着用や消毒等に御協力ください。また、体調がすぐれない方の来場はお控えください。

5月22日(土) 23日(日) 10時～16時  
会場：八木橋百貨店8階カトリアホール

《入場無料》

### 八木橋カトリアホールのイベント

#### ★くまがや環境賞受賞者の紹介

くまがや環境賞受賞者の功績等をパネルで紹介

#### ★環境DVD上映会

タイトル「ひろがるカーボンニュートラル」ほか

#### ★小学生環境ポスター作品展

環境ポスターの入選作品を展示します



2019年のポスター展

#### ★活動紹介・作品展示

- ◆エコ工作：立正幼稚園／熊谷市私立幼稚園協会  
「自然がいっぱい」～エコから広がる四季の森の世界
- ◆環境専業活動の動画による紹介：NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会
- ◆エコバッグ、小物等の展示販売：くまがやくらし友の会
- ◆CO<sub>2</sub>を減らすための取組紹介：東京ガス㈱
- ◆都市ゴミ焼却灰のセメント資源化についての紹介：太平洋セメント㈱熊谷工場
- ◆廃車の適正処理とリサイクル製品利用による環境負荷軽減：㈱ユニーパーツ
- ◆私たちのくらしを見直そう！：埼玉環境カウンセラー協会  
パネル展示「地球温暖化防止に寄与するエコライフ」
- ◆苗木の販売と温暖化防止の展示：NPO法人エコネットくまがや
- ◆廃食油の回収とバイオディーゼルの展示：㈱ゴトー

#### 今年もやります、スタンプラリー!

◆会場内のブースのうち3つのブースでスタンプを集めるとお楽しみ抽選ができます。素敵な賞品が当たるかも! ※賞品がなくなり次第終了します。

#### ムサシトミヨ水槽展示

世界で唯一 熊谷の元荒川にしか生息しないムサシトミヨが見られるよ



ムサシトミヨ



2019年の成田こども園の展示

私たちは「くまがやエコライフフェア2021」を応援しています(協賛企業) (順不同・敬称略)  
㈱八木橋 ㈱ユニーパーツ 太平洋セメント㈱  
東京ガス㈱ リンテック㈱ シナリー化粧品優版社  
㈱ゴトー ㈱LIXIL-㈱サイホク



を保護する会

谷工場(22日のみ)

シナリー化粧品優版社

気象学分野(22日のみ)

問合せ 熊谷市環境政策課(048-536-1547)



### エコライフフェアのチラシと当会の展示状況

#### 編集後記

コロナ禍が既に1年半以上続いています。次々と登場する変異株との闘いは未だ終わりが見えません。感染状況が改善したわけではありませんが、こうした長期戦になると、アゲンスト・コロナからウィズ・コロナへと社会の対応方針を変更せざるを得なくなっています。私たちのようなNPO活動は不急と言えなくもありませんが、コロナ禍で社会や環境の持続可能性に注目が集まっているなかで、改めてウィズ・コロナの視点で様々な活動を見直してみる必要があると思います。本会報もそんな視点でより充実していければと思っていますので、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。(☆no)